

教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 三木市立よかわ認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の三木市教育委員会指定研究会から継続して、「遊びを通した身体づくり」について、0～5歳児の6年間を見通した心身の育ちについて研修を重ね、教育センター委託研究に繋げる。 ・来年度からの民営化に向けて、これまで公立幼稚園と公立保育所が話し合いと研修を重ね、融合して作ってきた保育や取組の継承が課題である。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「遊びを通した身体づくり」を意識した保育を積み重ねながら、心身の育ちをささえ、非認知能力を育む。 ・クラスにかかわる職員全員が参画できるように園内研修や研究を進め、来年度も取組を継続できるような仕組み作りをする。
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から5歳児の発達について、職員間で共通理解する。 ・小学校の活動にも繋がる遊びについて各学年ごとの6年間を通して系統的な活動を展開する。 ・「3つの視点」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を中心に乳児クラスと幼児クラスに分かれて子どもの姿の事例を持ち寄り、心身の育ちについて可視化する。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から子どもたちの遊びと保育者の意図した環境づくりをリンクさせることを心がけて保育してきたことが、運動会へとつながった。そして、現在もチャレンジ遊びや集団遊びが続いている。 ・遊びの中で、「勝つことよりも頑張ることの大切さ」や「できるようになった子から挑戦中の友だちへコツ」を伝える姿、友だちを応援したり、友だちができるようになったことを自分のことのように喜んだりする姿から、心の育ちが見える。 ・各クラスから事例を集めることで、体と心の育ちを着眼点として保育を進めることができ、また低年齢からの身体づくりの積み重ねが幼児組の保育へとつながっていくことを職員間で再認識する機会となった。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「遊びを通した身体づくり」という明確な目標を持ち、真摯に子どもたちの発達と向き合いながら保育を進めている。 ・子どもたちの発達に応じた遊ぶ力を引き出すために、環境づくりへも配慮がなされている。 ・次年度からの民営化に向けて、話し合いと研修を進めており、スムーズな移行とこれまでの優れた取組がさらに発展されることに期待している。